



独立行政法人 国立病院機構
佐賀病院地域医療連携誌

平成20年12月号

Vol. 14

発行一所

独立行政法人 佐賀病院
国立病院機構

佐賀県佐賀市日の出1丁目20番1号

編集発行人：山口 淳三

ホスピタル

TEL (0952) 30-7141 (内線 1808) 連携室直通 FAX (0120) 872-882 URL <http://www.hosp.go.jp/~saga/>



佐賀県神埼郡：吉野ヶ里遺跡

基本理念

赤ちゃんからお年寄りまで、患者さんに優しい病院、家族に対しても思いやりのある
そして質の良い医療が提供できる病院を目指します

Contents

病院長挨拶・・・・・・・・・・・・・	2	出張講座について・・・・・・・・・・・・・	7
新病棟等工事について・・・・・・・・・・・・・	3	医療ソーシャルワーカーの相談状況・・・・・	8
連携医療機関のご紹介・・・・・・・・・・・・・	4～5	ケースカンファランスのご案内・・・・・・・・・・・・・	9
最新 MRI 機器導入について・・・・・・・・・・・・・	6	医師専門分野一覧・・・・・・・・・・・・・	10～11
市民公開講座の開催・・・・・・・・・・・・・	7	地域医療連携指数のご報告・・・・・・・・・・・・・	12



病院長挨拶

病院長 島 正義

近隣の医療機関の皆様には日頃より当院の運営に関しまして格別の御協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、かねてより計画しておりました新病棟の建設が11月10日より着工いたしました。早速、玄関前の池の鯉が日田市の方へ引き取られ、続いて池の解体、そして私の記憶では50年以上前からある池周りの楠・そてつなどの植木が切り倒され現場はそれらしく整地されました。これから新病棟が建ち、更に現在病棟が建っている所に新しい駐車場ができるまでは2年半あまりとなる長丁場ですが、工事期間中はとにかく事故がないように祈るばかりです。患者さん用の駐車場については更に不便をかけることとなり、本当に申し訳ないと思っておりますが、なにぶんご容赦のほどお願いいたします。

さて、今年度は6月からこれまで非常勤で対応させていただいていました呼吸器内科に新しく常勤として河島通博医長を迎えました。呼吸器感染症や気管支喘息、COPD、肺ガンなどの診療、また周産期医療、外科系患者さんの合併症対策など当院の臨床の幅が一気に広がった感があります。地域の先生方に助けられながら、今後も皆様方のお役に立てるよう更に臨床の領域を発展させていきたいと思っています。また、これまで非常勤職員で対応していた医療ソーシャルワーカーが今年度から定員配置され、医療連携のキーマンとしてだけでなく、医療と介護の橋渡し役として頑張っています。今後も度々先生方の施設を訪問したり、電話連絡などすることがあるかと思いますが、当院の至らない点など何でもお申し付け下さい。

また、医療機器整備としましては、10月からはこれまで0.5 T (テスラ)であったMRIが1.5 T (後述)の高画質機種にグレードアップしましたので診断能の向上に役に立つものと思います。最後に、今年度は紹介医療機関名簿を改訂させていただき予定で作業を進めています。改訂にあたり関係各位にはお忙しい中多大なるご協力をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。

新病棟等工事について

企画課長 邊田 昭敏

新病棟等建設の安全を祈願する起工式が去る9月17日に執り行われました。地鎮の神事で工事期間中の無事故を島院長を始め職員一同祈念しました。

工事の方は建築基準法改正による審査等に時間を要したため工事も着工したばかりです。

今回は4床室や特別個室のイメージをご紹介しましたが、今回は動線についてご紹介します。

現在の6F建病棟及び母子医療センターはエレベーターが3

基、下膳用エレベーターが1基ですが、新病棟では患者さん方が通常使われるエレベーターが2基、一般と業務の混合用が1基、緊急用のエレベーターが1基、厨房用のエレベーターが1基、薬剤科から病棟へ院内処方、注射薬を運ぶ直通ダムウェーターが1基の合計6機設けます。

このうち緊急用のエレベーターは、将来に向けての総合周産期母子医療センターとしての機能をフルに発揮できるようにレディース病棟のMFICUとNICUの2階・3階間を最短で結ぶエレベーターであるとともに、1階の手術室と各階病棟を結ぶ緊急用のエレベーターでもあります。このエレベーターは手術室・NICUのクリーン地帯と直結しているため一般外来者等の使用はできない位置に設けています。

次に厨房用エレベーターについて紹介します。入院患者さんの楽しみの1つはなんと言っても食事でしょう。今までは配膳室から一旦一般用エレベーターがある中央ホールまで運んでいましたが、新病棟では調理したての料理が温冷配膳車で厨房のエレベーターから直接各病棟に直行できるので、患者さんの前にできたてホカホカの調理したての状態でお届けできます。

注射薬等を運ぶダムウェーターは1階の薬剤科から各病棟のスタッフステーション（小児病棟はスタッフステーション前）に直送される仕組みとなっており、従来人力に頼って運搬していた部分が大幅に改善されます。

新病棟のエレベーターを中心とする動線について今回紹介しましたが、患者さん、お見舞いの方にとって最上の動線は病院職員のコミュニケーションを含めた対応だと思います。患者さん方から喜ばれ、地域の医療機関の先生方から選ばれる病院を目指していきたいと思ひます。



新病棟 鳥瞰図



起工式



地域医療連携病院のご紹介 さとうクリニック



院長 佐藤 智丈

所在地：〒 840-2205
佐賀市川副町南里 372 番地 1
TEL：0952-45-8000
FAX：0952-45-7608
診療日：月 火 水 木 金 土
診療時間：8:30～18:00
休診日：日曜・祝日、土曜の午後
診療領域：内科、リハビリテーション科
病床数：2床（急性期）

理念

正確に、迅速に、親切にそして、誠実に対応する。

私は川副町で「さとうクリニック」を開業している佐藤と申します。

昭和 57 年に山口大学を卒業後、国立長崎中央病院（現長崎医療センター）で研修しました。その時、内科ローテートの際に佐賀病院現院長の島先生にご指導を受けました。更に、現副院長の山口先生とは研修医の同僚でした。研修終了後、どこの医局に入局しようかといういろいろ迷いましたが、すでに山口先生は長崎大学第 2 外科に入局しており、「人柄のいい山口君がいるから」という理由で私も 2 外科に入局しました。人の進路を決めるときは割と単純なことで決めるものだと今になって思います。

長大 2 外科入局後、尾道市、中村市（高知県）、浜松市、多久市、奈留町（五島市離島）、松浦市と、長崎市から遠い所ばかり赴任しました。遠隔地の引っ越しが多く、妻や子供にはずいぶん迷惑をかけたのかも知れません。子供も 3 ヶ所の幼稚園を転々とし、ある年はカトリック幼稚園で賛美歌を歌っていたと思ったら、次の年は仏教系の幼稚園で「おきょう」を覚え、更に卒園式には数珠をいただいてきたのには、「お前はいったい何教か」といいたくなりました。私たち夫婦も大変でしたが、それぞれの赴任先でいろいろな人と友達になり、それが大きな財産になっています。開業医になった今では、国立長崎中央病院で研修医としていろいろな科をローテートしたことと、奈留島で経験したことが随分役に立っています。奈留島は「あみだくじ」で赴任が決まったのですが、当時奈留病院は内科 2 名、外科 1 名の編成でした。外科医の私の仕事の内容というと、内科の先生が診ない患者さんは整形も皮膚科も眼科もみんな外科の仕事という印象で、ある日「うちの犬がぐわいの悪かけん診てくれる」という依頼にはびっくりしました。満足なことも出来ず患者さんには迷惑をおかけしたのかも知れませんが、色々と経験にはなりました。自分で自分のアテロームの手術をした

時には「健康には注意しよう」とつくづく思いました。しかし、勤務医の大半の時間を費やして外科医としてトレーニングしたことが、開業医の現在あまり生かされていないのは少し残念なことです。

私の趣味はランニングです。佐賀平野を走っていると 360 度地平線が見えます。あちこち引越しましたが、この様な空の広い所は初めてです。空があまりに広くて走りながら涙が出そうになります。佐賀の良い所は「何も無い」ということです。高い建物も近代設備も要りません。佐賀が福岡などの都会のまねをする必要はまったくありません。佐賀在住の皆さんに「何も無い」ということが「すごく贅沢なこと」ということにぜひ気付いてほしいと思います。私たちはあちこち引越して佐賀の良さに気付きましたが、昔から佐賀に住んでいる人がもう少し佐賀の素晴らしさを見直してくれたらと思うときがあります。

さて、病診連携で心配なことは、患者さんを紹介する時に「引き受けてくださるだろうか」「紹介状の返事をくださるだろうか」「患者さんが回復したらまた自院に帰って来るだろうか」ということです。紹介しても返事が無いのは寂しいものです。逆に詳細な返事をいただいた時は「紹介してよかった」と心から思います。紹介状の返事を紹介先の先生が下さるためには、自らがきちんと紹介状を書く事だと思い、なるだけ誠意をもって紹介状を書くように心がけています。

医療も自己完結型から地域完結型へと変遷し、在宅医療も推進されてきています。私の施設も在宅医療に取り組み、緩和ケアや終末期医療、更に在宅での看取りも行っています。在宅医療には病診連携はもちろん、訪問看護ステーションや介護にかかわる方々の助力が欠かせません。時々自分の力足らずを実感しますが、これからもベストを尽くしていきたいと思えます。色々と迷惑をおかけするかも知れませんが、今後ともよろしくお願いいたします。

地域医療連携病院のご紹介

たんぽぽクリニック



院長 橋川 桂三

所在地：〒 849-0926
佐賀市若宮町 1 丁目 19 番 29 号
TEL：0952-36-9206
FAX：0952-36-9236
診療日：月 火 水 木 金 土
診療時間：9:00～18:00
休診日：日曜・祝日、土曜の午後、盆、正月
診療領域：内科、小児科、消化器内科
呼吸器科内科、感染症科

理念

自分がされたくないような医療を患者様にしない。
自分の専門、知識能力の範囲をこえる病気については、
すみやかに専門医療機関を紹介する。

佐賀市若宮でたんぽぽクリニックという無床診療所を営んでいる橋川です。早いもので佐賀市で開業して5年過ぎました。まだ、患者数はすくなく、たんぽぽクリニックも佐賀市若宮に根づくことができたようです。消化器、呼吸器、小児科を標榜し、自分の能力では診断及び治療出来ない患者を佐賀病院に依頼し、引き受けていただき、助けていただき、感謝しています。特に、小児科は、標榜はしていますが、経験不足で、紹介が多く、ご迷惑をお掛けしています。私のことについて述べてみます。昭和53年に長崎大学を卒業し、二内科に入局し、消化器班に所属しましたが、高知医大で免疫学を勉強し、主要免疫昭和62年からは斉藤教授の琉球大学一内科では呼吸器感染免疫を研究しました。自身の能力の限界を感じ、平成8年辞めることにしました。このとき、自分の臨床医としての技術、患者の治療及び対応経験が、開業には不足していると思い、長崎大学二内科河野教授にお願いして、関連病院で勤務させていただきました。開業以前の研究も仕事も中途半端でしたが、その間に蓄積されたいろいろの知識や経験が、開業医として役にたっているように思えます。私のかってな考えなのですが、(開業医は、風邪などの急性疾患や高血圧などの慢性疾患をみるだけでなく、悪化したとき、患者に隠れている重大な疾患を見つけるように心がけ、疾患を見つけたとき、自分の能力では判断出来ないとき、設備、専門医、マンパワーを備えた病院に送ること)と考え、仕事をしています。そのため、佐賀病院の先生の中には、(また、

たんぽぽクリニックか)と思われる先生もおられるかもしれませんが、よろしく願いいたします。話は変わりますが、マスコミでは、勤務医の大変さが報道されていますが、開業医も大変です。私のような個人医は、小さな商店のようなもので、診療にとられる時間以外、朝から仕事の準備、昼休みは銀行その他の雑務、仕事を終わってからの雑務、戸締まり、経営問題など大変です。大きな借金をして開業して、経営がうまくいかなかったら、誰の助けもないので、自分だけでなく家族も路頭に迷います。板の下は海の心境です。今後、数年続く不況により、受診抑制、未払い、医療費の見直しなどによる収益の減少は避けられないと思うと、気持ちが暗くなる時もあります。勤務医も開業医も気分を切り替え、がんばりましょう。以前、病院の当直の多くが、研修医が担っていて、私も当直のバイトで生活費を補充していました。当直のときの医療事故は経験の少ない研修医がしているから起こっているとマスコミにたたかれ、今の臨床研修医制度ができました。いま、その制度により医師の偏在が起これ、医師が足りない科、地域が問題になっています。でも医師の総数は増え続け、平成21年度の医学部定員も900人以上増えます。医師の偏在を法律で修正し、偏在が解消したり、融資などで開業がきびしくなっている科もありますので、勤務医の条件さえ良くなれば、勤務医も増え、過労がなくなり私も心の片隅で申し訳ないという気持ちを持ちながら患者を送らなくて良い日がくるのを望んでいます。

新機 MRI 導入

放射線科医師 阿比留

新機種は 1.5 T (テスラ) の MRI で、シーメンス社マグネトム シンフォニー アドバンスド Tim システム (MAGNETOM Symphony Advanced Tim system) です。

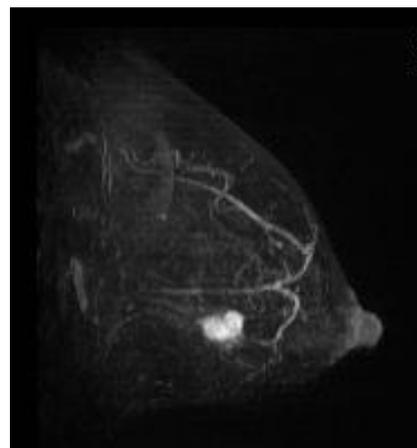
Tim (Total imaging matrix) システムとは、シーメンス社独自のコイルシステムで、複数のコイルを組み合わせて、広い範囲を高画質で撮像可能になっています。

検査部位は全身ですが、肺の検査にはむいていません。Dynamic study (造影剤を注入後、数秒あるいは数分ごとに同じ断面を撮像し、病変部の血行動態などを観察) を利用して、肝臓癌、乳癌、婦人科腫瘍などの診断を行っています。

造影後の画像から造影前の画像を引き算して、造影されたものだけを抽出したり、3D 処理をして、多方向から観察することが出来ます。(図：乳癌)

早期脳梗塞や腫瘍の存在診断などに有用な拡散強調画像も撮像可能です。

頭部、躯幹部、四肢ともに検査シリーズにもよりますが、15～30 分程度の検査時間です。体内に金属のある方、閉所恐怖症、長時間の臥位に耐えられない方、ペースメーカー埋め込み後の患者などは検査できません。造影すると、さらに時間がかかることがあります。



シーメンス社：MAGNETOM Symphony

市民公開講座



今年も地域住民の皆様を対象とした市民公開講座を11月29日(土)に佐賀市文化会館大会議室(3階)にて開催し、参加者総数は、昨年より15名多い88名となりました。本講座は今年で7回目で講演は2つのテーマで開かれ、一題目は「放射線科の検査と医療被ばく」について阿比留放射線科医師から最近の治療を中心に講演がありました。一題目と二題目に10分間の休憩がありましたが、その間でも沢山の質問を受けて的確な説明をされていた阿比留先生でした。

二題目は、「薬物相互作用」について、橋本薬剤師より食べ物と薬の飲み合わせと題して一般の方にも分かりやすく説明がされてとても好評でした。アンケートについても、沢山のご意見ご要望が寄せられ非常に良い市民講座でした。

地域住民の皆様にはとても興味深く聴講していただきまして有り難うございました。今後とも、この市民公開講座が地域住民の皆様健康面に少しでもお役に立てるように、工夫を凝らしたいと思っています。

出張講座のご紹介

看護部患者サービス向上委員会副看護師長 末次 まち子

当院では平成18年4月より、病院からの地域の方々に対する支援と情報発信の機会になればと考え、看護部を中心に「出張講座」を実施しています。

出張講座は、地域の方からの要望にお応えする内容で、看護師や助産師が集会や研修会場へ赴き、講義等を行うものです。

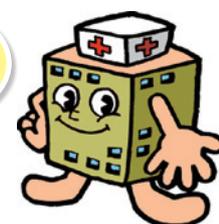
これまでに、小・中学生を対象にした「命の大切さ」や、地域婦人会での「更年期の過ごし方」、更には佐賀市母子寡婦福祉連合会の依頼による「泣き笑いの子育て」などのテーマで講座を開催させていただき、おおよそ500名程の方々に聴講いただきました。

このほかにも、各診療科(病棟)で勤務する看護師や助産師が得意とする内容でテーマ選定を行い、例えば「生命の誕生と母親になること：助産師」、「小児の救急対応について：小児科看護師」、「乳癌自己検診法：外科看護師」や「健康維持のための腰痛体操、骨折予防：整形外科看護師」など、いつでも要請にお応えできるようにスタンバイしています。

今後も一層、地域のニーズにお応えできるよう更に専門知識と技術の習得、向上に努めますとともに、地域の先生方やコミディカルの方々のご指導、ご助言を頂きながら充実を図っていきたくと思っています。共同で企画・実施ができるようなことがございましたら、お声掛けいただければ幸いに存じます。

なお詳しい内容につきましては、佐賀病院ホームページに掲載しています。

出張講座



HP アドレス <http://www.hosp.go.jp/~saga/>

医療ソーシャルワーカーの相談状況～半年を振り返って～

地域医療連携室 MSW 下田 薫

今年4月より国立病院機構佐賀病院にMSWとして勤務し半年が過ぎました。
そこでH20.5.1 H20.10.31までの相談状況をまとめました。

● 相談実件数

初回相談内訳	退院調整	58件
	制度の利用	42件
	経済的な相談	32件
	受診・受療の援助	14件
	養育	5件
	その他	16件
	計	167件

(転院44件、在宅14件)



● 延べ件数

他の医療機関への連絡調整	行政機関	127件
	医療機関	74件
	支援センター	23件
	民生委員	4件
	その他(施設等)	20件
	カンファレンス	10件
計	258件	

再相談	退院調整	81件
	制度の利用	32件
	経済的な相談	26件
	養育の件	10件
	その他	10件
	計	159件

(転院47件、在宅34件)

この数字で退院調整に在宅への支援が少ない事がわかります。重症の患者さんが多いことから在宅復帰が難しい方が多いのも一つの理由とは思いますが、家族が直接支援センターや市へ相談して十分な調整ができないまま、退院となっているケースもあるのではないかと思います。在宅退院は家族の不安も大きく、介護保険の利用も複雑であることから、少しでも早くMSW介入し、家族の要望や患者さんの状態を考慮し、地域の医療、介護サービス機関との連携ができるように支援をしたいと思います。

また、連絡調整で行政機関の数字が多いのは、養育の相談の件で複数の行政機関との密な連絡が必要であったこと、制度の利用につなげるために関係機関との確認作業に時間を要するためと思います。

患者さんは解決しないといけな問題を複数抱えている事が多いのですが、その問題を一緒に整理し安心して治療ができるように、これからも支援していきたいと思います。

患者さんの呼称変更をいたしました

当院ではより安全・安心な医療の提供に取り組んでいくという理念から、今後はよりいっそう親しみを込めて「さん」呼称に変更し、これまで以上に患者さんに関わっていきたく思っております。



国立病院機構佐賀病院 ケースカンファレンスのご案内

当院では平成18年2月より、主に紹介いただいた症例を中心としたケースカンファレンスを、毎月第4月曜日の19時～20時に佐賀病院研修ホールにて実施しています。(8月と12月を除きます)

このカンファレンスは参加費無料で、日本医師会生涯教育制度の講座に認定されており、**医師会員の受講者は3単位を取得**することができます。また、**会員外の方でも希望者には3単位の参加証明シールを発行**しています。

ご紹介をいただきました多くの先生方に受講していただけますよう、益々充実していきたいと思っておりますので今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

各診療科の担当月

小児科：2月，7月
内科：3月，9月
外科：4月，10月
整形外科：5月，11月
産婦人科：1月，6月

過去の開催状況

- 平成20年11月17日(月) 整形外科担当
「椎間板ヘルニアの話について」
- 平成20年10月27日(月) 外科担当
「消化器癌における化学療法の現況について」
- 平成20年9月29日(月) 内科担当
「糖尿病診療の実際(その2)について」
- 平成20年7月28日(月) 小児科担当
「小児の痙攣性疾患について」
- 平成20年6月23日(月) 産婦人科担当
「胎盤異常の超音波診断について」
- 平成20年5月26日(月) 内科担当
「糖尿病診療の実際(その1)について」
- 平成20年4月28日(月) 外科担当
「当院における緩和ケアについて」
- 平成20年4月14日(月) 内科担当
②「C型慢性肝炎に対する
インターフェロン治療について」
- 平成20年3月24日(月) 内科担当
①「C型慢性肝炎に対する
インターフェロン治療について」
- 平成20年2月25日(月) 小児科担当
「小児の尿路感染症について」
- 平成20年1月28日(月) 産婦人科担当
「当院における分娩時多量出血例の検討について」
- 平成19年11月26日(月) 泌尿器科担当
「前立腺癌について」
- 平成19年10月22日(月) 外科担当
「胃粘膜下腫瘍(GIST)について」
- 平成19年9月25日(火) 内科担当
「当院における消化器内視鏡治療」
- 平成19年7月23日(月) 小児科担当
「学童期の心臓病について」
- 平成19年6月25日(月) 産婦人科担当
「胎児モニターの異常例について」
- 平成19年5月28日(月) 整形外科担当
「当院における足関節果部骨折の治療について」
- 平成19年4月25日(水) 外科担当
「急性腹症について」
- 平成19年3月26日(月) 放射線科担当
「胸部単純写真の見方」
- 平成19年2月26日(月) 小児科担当
「RSウイルス感染症の臨床」
- 平成19年1月22日(月) 産婦人科担当
(産婦人科・小児科合同)
「①当院における胎児心臓病症例」「②心疾患の胎児診断:今、何が求められているのか」
- 平成18年11月27日(月) 整形外科担当
「大腿骨頸部骨折のマネージメントについて」
- 平成18年10月23日(月) 外科担当
「そけいヘルニアの治療」
(症例に合わせた特殊な手術方法)
- 平成18年9月25日(月) 内科担当
「C型肝炎のインターフェロン治療の適応について」
- 平成18年7月24日(月) 小児科・皮膚科合同
「子供の皮膚」
- 平成18年6月26日(月) 産婦人科担当
「産科超音波診断-実技を通して」
- 平成18年5月22日(月) 整形外科担当
「骨折治療の変化」
- 平成18年4月24日(月) 外科担当
乳がん 最近経験した温存症例について
「-温存の適応、手術の工夫および当院の成績-」
- 平成18年3月27日(月) 内科担当
「内科への紹介患者さんについての症例検討」
- 平成18年2月27日(月) 小児科担当
～時間外で遭遇する小児の腹痛-便秘・嘔吐
下痢症から「へえー」と言われた症例まで～



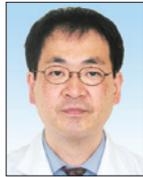
外科：「消化器癌における化学療法の現況」講座

診療科目の枠を超えて、多数の受講をお待ちいたしております。

地域医療連携室

医師専門分野一覧

①診療科 ②専門・専攻分野等 ③専門医・認定医等



内科医長 加藤 浩之
かとう ひろゆき

①内科
②肝臓 消化器 内科一般
③内科認定医 消化器病専門医
肝臓専門医 消化器内視鏡専門医



内科医長 河島 通博
かわしま みちひろ

①呼吸器科
②呼吸器内科
③呼吸器専門医 認定内科専門医
指導医



内科医長 後藤 貴史
ごとう たかし

①内科
②消化器 肝臓 内科一般
③内科認定医 消化器病専門医
消化器内視鏡専門医



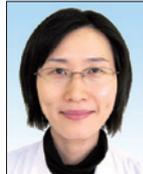
内科医師 岩永 希
いわなが のぞみ

①内科
②リュウマチ 膠原病 糖尿病
③内科認定医 リュウマチ専門医



内科医師 神矢 圭代
かみや かよ

①内科
②内科一般 糖尿病 代謝



内科医師 塩月 香那子
しおつき かなこ

①内科
②消化器 肝臓



内科医師 井上 効子
いのうえ こうこ

①内科
②内科一般



循環器科医長 尾関 伸一郎
おぜき しんいちろう

①循環器科
②循環器科
③内科専門医 循環器科専門医
身体障害者認定医



第一診療部長 高柳 俊光
たかやなぎ としみつ

①小児科
②未熟児・新生児 小児科一般
③小児科専門医 身体障害者認定医



院長 島 正義
しま まさよし

①内科
②内科一般 消化器 肝臓
③消化器病専門医 肝臓専門医 消化器内視鏡専門医
内科認定医 身体障害者認定医



副院長 山口 淳三
やまぐち じゅんぞう

①外科
②乳腺外科 消化器外科
③外科指導医 外科専門医
消化器外科認定医 身体障害者認定医



外科医長 円城寺 昭人
えんじょうじ あきひと

①外科
②消化器外科
③外科指導医 消化器外科指導医 消化器病指導医
消化器内視鏡指導医 外科専門医 消化器外科専門医
消化器病専門医 消化器内視鏡専門医



外科医長 朝川 孝幸
あさかわ たかゆき

①外科
②消化器外科 乳腺外科
③外科専門医



外科医師 橋本 敏章
はしもと としあき

①外科
②消化器外科
③外科専門医 日本外科学会認定医
日本消化器外科学会認定医



外科医師 森内 博紀
もりうち ひろき

①外科
②消化器外科
③外科専門医



外科医師 中島 弘治
なかしま ひろはる

①外科
②外科一般



放射線科医長 岡田 秀樹
おかだ ひでき

①放射線科
②放射線診断
③放射線科専門医



放射線科医師 阿比留 一
あびる はじめ

①放射線科
②放射線診断
③放射線科専門医

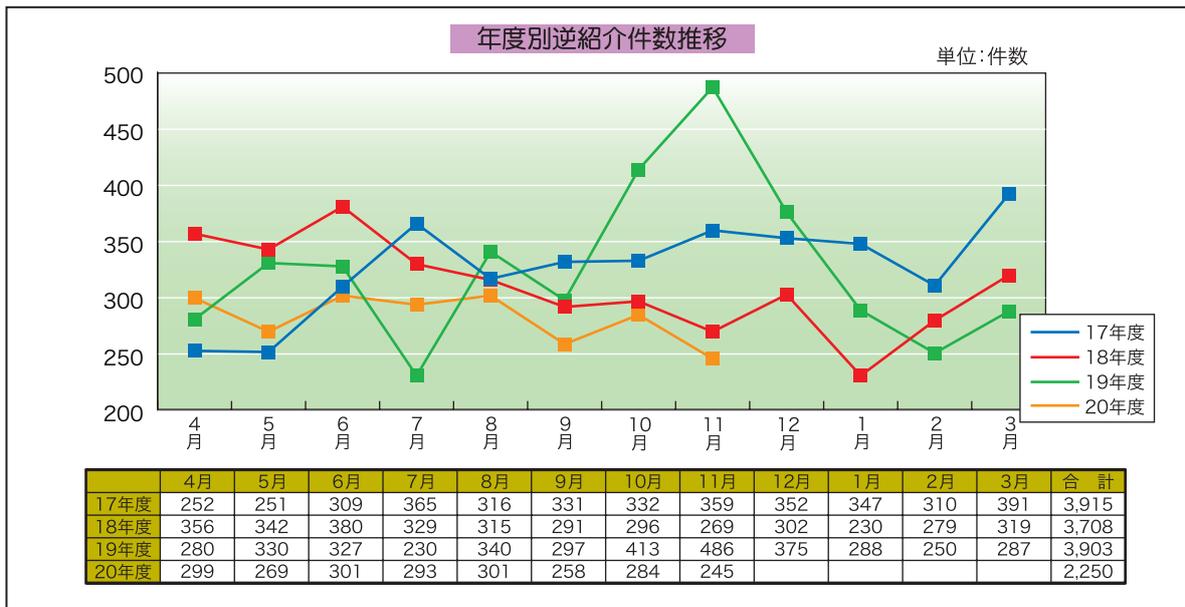
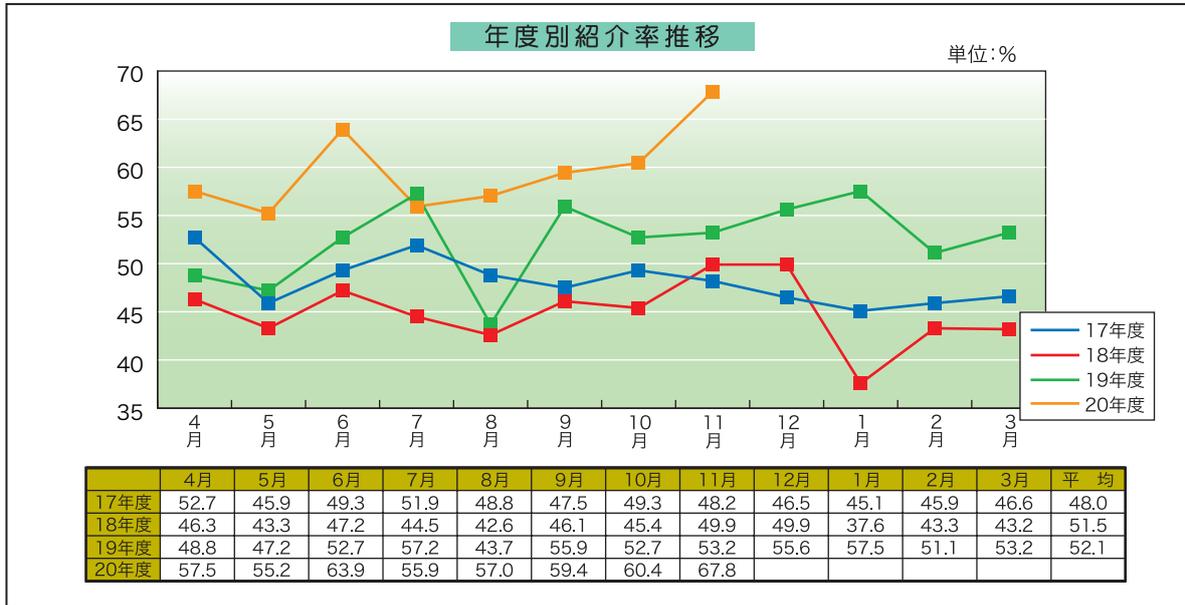


泌尿器科医長 谷口 啓輔
たにぐち けいすけ

①泌尿器科
②泌尿器科一般
③泌尿器科指導医 泌尿器科専門医
透析医認定 身体障害者認定医

	<p>小児科医師 松尾 幸司 まつお こうじ</p> <p>①小児科 ②未熟児・新生児 小児科一般 ③小児科専門医</p>		<p>整形外科医長 原 真一郎 はら しんいちろう</p> <p>①整形外科 ②脊椎外科 整形外科一般 ③整形外科専門医 脊椎脊髄病学会指導医 整形外科学会脊椎脊髄病医 身体障害者認定医</p>
	<p>小児科医師 漢 伸彦 かん のぶひこ</p> <p>①小児科 ②小児循環器 小児科一般 ③小児科専門医</p>		<p>整形外科医師 岩永 斉 いわなが ひとし</p> <p>①整形外科 ②整形外科一般 ③整形外科専門医</p>
	<p>小児科医師 江頭 智子 えがしら ともこ</p> <p>①小児科 ②小児科一般</p>		<p>整形外科医師 依田 周 よだ いたる</p> <p>①整形外科 ②整形外科一般</p>
	<p>小児科医師 山口 朋奈 やまぐち ともな</p> <p>①小児科 ②小児科・新生児 小児科一般</p>		<p>形成外科医長 鈴木 裕一 すずき ゆういち</p> <p>①形成外科 ②再建外科 ③形成外科認定医</p>
	<p>小児科医師 安部 淳 あべ じゅん</p> <p>①小児科 ②小児科一般</p>		<p>第三診療部長 野見山 亮 のみやま まこと</p> <p>①産婦人科 ②産科 産婦人科一般 ③産婦人科専門医 超音波専門医 周産期専門医</p>
	<p>小児科医師 杉原 進 すぎはら すずむ</p> <p>①小児科 ②小児科一般</p>		<p>産婦人科医師 徳田 諭道 とくだ つくみち</p> <p>①産婦人科 ②産科 産婦人科一般 ③産婦人科専門医</p>
	<p>小児科医師 荒木 薫 あらか きある</p> <p>①小児科 ②小児科一般</p>		<p>産婦人科医師 安永 牧生 やすなが まきお</p> <p>①産婦人科 ②産婦人科一般 婦人科腫瘍学 ③産婦人科専門医 細胞診専門医</p>
	<p>眼科医師 大坪 貴子 おおつぼ たかこ</p> <p>①眼科 ②眼科一般 ③眼科専門医 身体障害者認定医</p>		<p>産婦人科医師 田中 智子 たなか さとこ</p> <p>①産婦人科 ②産婦人科一般</p>
	<p>皮膚科医師 篠田 洋介 しのだ ようすけ</p> <p>①皮膚科 ②皮膚科一般</p>		<p>産婦人科医師 矢野 紘子 やの ひろこ</p> <p>①産婦人科 ②産婦人科一般</p>
	<p>研修医 大賀 保範 おおが やすのり</p> <p>2年目</p>		<p>研修医 原口 智佳子 はらぐち ちかこ</p> <p>1年目</p>

地域医療連携指数のご報告



- ### 【交通のご案内】
1. JR「佐賀駅」下車徒歩20分
 2. バス（市営、昭和）
「市文化会館前」下車
 3. 高速バス（唐津・伊万里線）
「総合体育館前」下車徒歩3分